



北川辺中だより

【学校教育目標】「知性を磨く 心豊かな たくましい生徒」

【生徒数】1学年80人 2学年57人 3学年83人 合計220人

発行：加須市立北川辺中学校
住所：加須市麦倉 3705 番地
電話：0280 (62) 2402
FAX：0280 (62) 2768
令和6年3月8日 第12号

【目指す学校像】「三者一体型の教育活動による 笑顔あふれる学校」

「利他の心」-3年生を送る会に思う-

校長 山村 一久

昨日、「3年生を送る会」が開催されました。保護者の参加数は100名以上にのぼり、関心の高さを物語っていました。保護者の皆様には、お忙しいところ生徒の活躍場面を御覧いただきありがとうございました。

さて、学年・部活動の出し物や体育館を彩る掲示物で、体育館にいる者全てが穏やかな気持ちで楽しいひとときを共有しました。北川辺中学校の一員であることに幸せを感じるひとときでした。

企画・運営をする者、出し物を披露する者、そして、掲示物を手がける者、それぞれが自分の役割を自覚し、責任をもって創りあげました。「手間ひま」をかけ創りあげた「3年生を送る会」。手間もかかるし時間もかかる。それでもやり遂げる気持ちを支えるものは何なのでしょう。きっとそれは「感謝」の思いに裏打ちされた「先輩を楽しませたい」という気持ちなのだと思います。これも北川辺中学校のよさなのだと実感しました。誰かのために自分の「時間」と「労力」を費やすことを厭（いと）わない姿勢、これは「利他の心」と言うことができるのだと思います。

私たちの心には「自分さえよければいい」と考える利己の心と、「自分を犠牲にしても他の人のために何かをしよう」とする利他の心があります。利己の心で判断すると、自分のことしか考えていないので、周囲の協力も得られません。自分中心ですから視野も狭くなり、間違った判断をしてしまいがちです。一方、利他の心で判断すると「人によかれ」という心ですから、周囲のみんなが協力してくれます。また、視野も広がるので、正しい判断ができるのです。

学校生活においても社会生活においても、より良い取組をしていくためには（将来的には「より良い仕事」と言い換えられるでしょうか…）、自分だけのことを考えて判断するのではなく、周囲の人のことを考え、思いやりに満ちた「利他の心」に立って判断ができるようになることを期待しています。もちろんそこには、教職員の指導・支援・情熱があることは言うまでもありません。

卒業証書授与式まで、あと7日。卒業生と在校生の準備は続きます。

